

(仮称) 東広島市立美術館について

1 整備計画

東広島市では、東広島市西条栄町（市役所庁舎からプールバールを挟んだ西隣）に（仮称）東広島市立美術館（以下「新美術館」という。）の建設に着手しました。

新美術館は、市民の文化芸術活動の拠点として、「東広島芸術文化ホールくらら」や、西条中央公園と一体となった活用を図ること（図1 完成予想図）が、特徴の1つです。

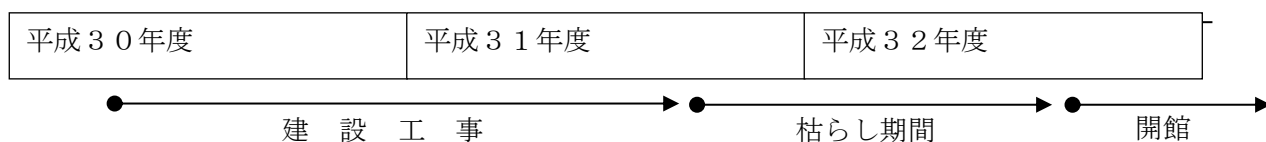


図1 完成予想図

<新美術館コンセプト>

- ・新立美術館は市民の創造性を高める
- ・新たな芸術家を育成する

建設工事は、平成30年7月から平成31年秋の間に施工し、竣工後1年間程度、からし期間（「コンクリート躯体からのアルカリ性物質等の拡散低減期間」のこと。以下同じ。）を設けて、平成32年度秋の開館を目指しています。



<現在の東広島市立美術館の建設に至る経緯>

- S53 大久保博氏が美術館を建設し、本市に寄附（現在の東広島市立博物館 [東広島市八本松]）
- S54 開館
- S61 寄附者遺族より、再度の寄附により2階部分竣工

<所蔵作品の収集方針>

- 1 日本の近現代版画
- 2 現代陶芸
- 3 地元ゆかりの作家

<所蔵作品>

分野	版画	工芸	日本画	油彩画	水彩画	素描	書	彫刻	合計
収蔵数	571	85	11	58	19	52	23	10	829

▲収蔵品の状況

（平成30年10月1日現在）

2 運営計画

この施設の管理運営方式につきまして、「図2 新美術館の管理運営方式」のとおり、学芸普及部門において、市の直営により事業を推進し、事業運営部門と維持管理部門については、指定管理方式によることで、両者の併用方式を採用したいと考えております。

	直営＋指定管理
学芸普及部門	市
事業運営部門	指定管理
維持管理部門	指定管理

図2 新美術館の管理運営

この「学芸普及部門」、「事業運営部門」及び「維持管理部門」の各業務内容については、今後整理を行いますが、大枠では「図書館・博物館等への指定管理者制度導入に関する調査研究報告書（H22 文科省委託事業）においても、「図3 学芸員を自治体職員とするケース」の事例が記載されています。

同報告書では、全国の博物館等の調査結果、学芸員を自治体職員とする場合の美術館業務を、「調査研究業務（研究・企画）」、及び「それ以外の業務（広報・営業、監視・案内、利用受付、維持管理、ショップ等）」の2通りに区分しています。

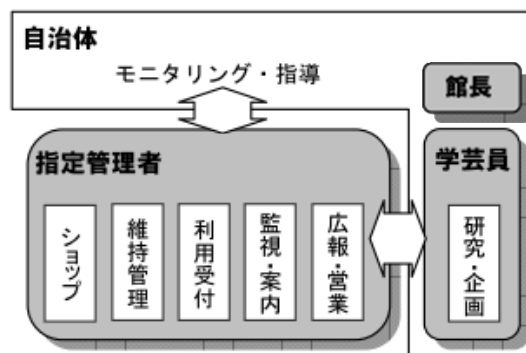


図3 学芸員を自治体職員とするケース

そこで、本市では、図2で定めた各業務の詳細内容を検討しており、現時点では、次表のとおり区分けする予定としています。

表1 部門ごとの業務区分案

業務区分	自治体が行う業務	指定管理者が行う業務
学芸普及部門	企画展のプロデュース ・企画立案、交渉、作品展示指示 ・借り上げ作品の現地授受等 教育普及事業 ・ワークショップの開催 美術品管理 ・所蔵作品の管理	※市民ギャラリーなどの運営（貸館や抽選、イベント運営等について、指定管理の業務とすることを検討している。 ※ワークショップの開催については、運営を指定管理の業務とすることを検討している。
事業運営部門		企画展・教育普及業務の運営 ・経理事務、庶務事務、チケット販売事務 ・受付、案内事務、展示補助（実質作業） 運営スタッフの配置・管理 広報 ・ホームページの運営 ・チラシ等印刷物の送付 ショップ販売、在庫・陳列等管理 貸館（ギャラリー等の貸し出し業務）
維持管理部門		施設設の維持管理 ・清掃・警備・機器等管理

これらの方針に基づき、指定管理業務は、新美術館の竣工時（H31年秋）から開始することを予定しています。

3 施設の概要と運営方針案

(仮称) 東広島市立美術館の利用方針は3つの階層ごとに、次のとおりを予定しています。

1階部分については、美術館としてのセキュリティや静寂性を保ちつつも、西条中央公園と一体となった活用を図れる空間を目指します。

図4はブルーバール側から見た完成予想図です。図5の1階平面図の赤枠の通り、ロビーには、休憩スペースに加えミュージアムショップ等を設置可能で、アートスペースは市民参加のイベント会場となります。



図4 1階の完成予想図

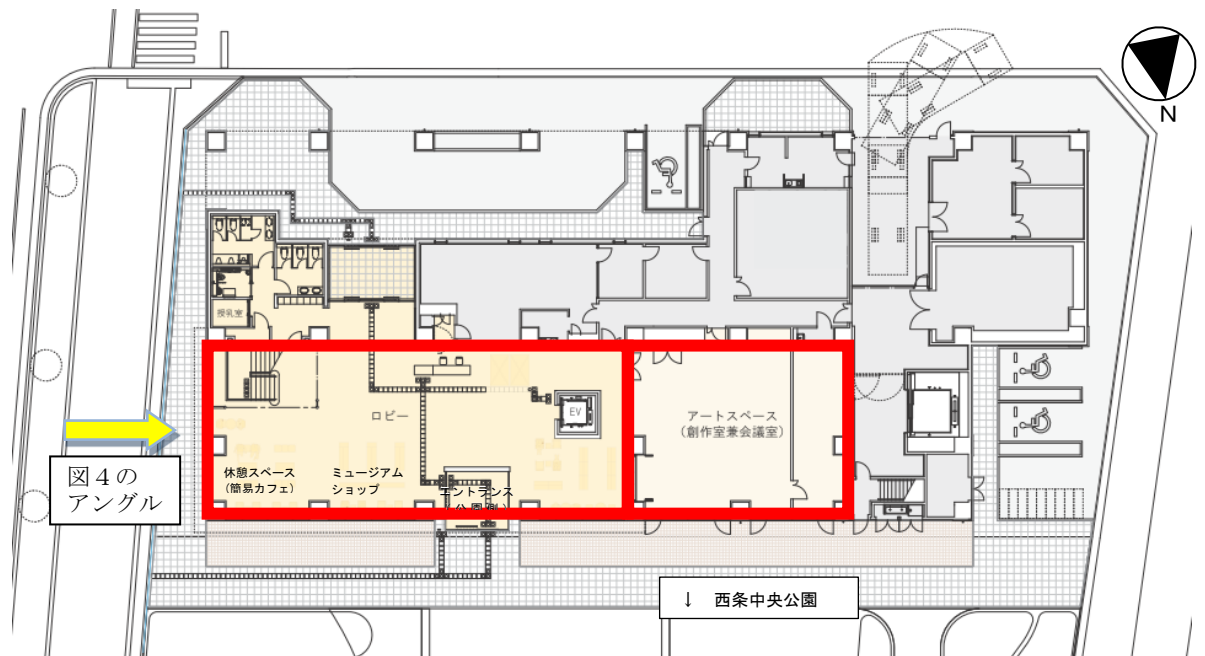


図5 1階平面図

図6は2階の平面図です。展示室Bは、展示室面積約300㎡で、西条中央公園に面したスペースは、市民ギャラリーとして市民に開放する予定です。

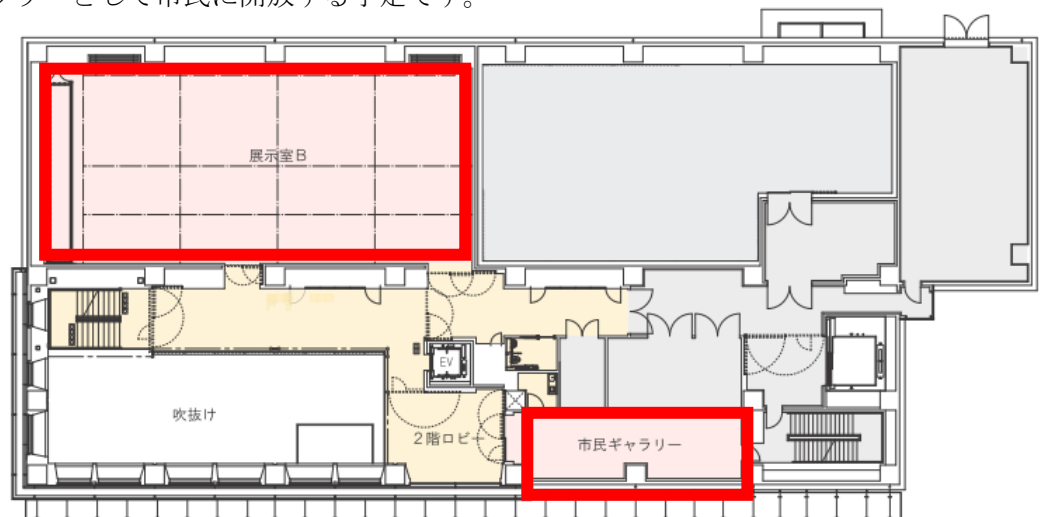


図6 2階平面図

図7は3階の平面図です。

展示室Aは、展示室面積600㎡で、特別展等の開催の主要展示室となります。

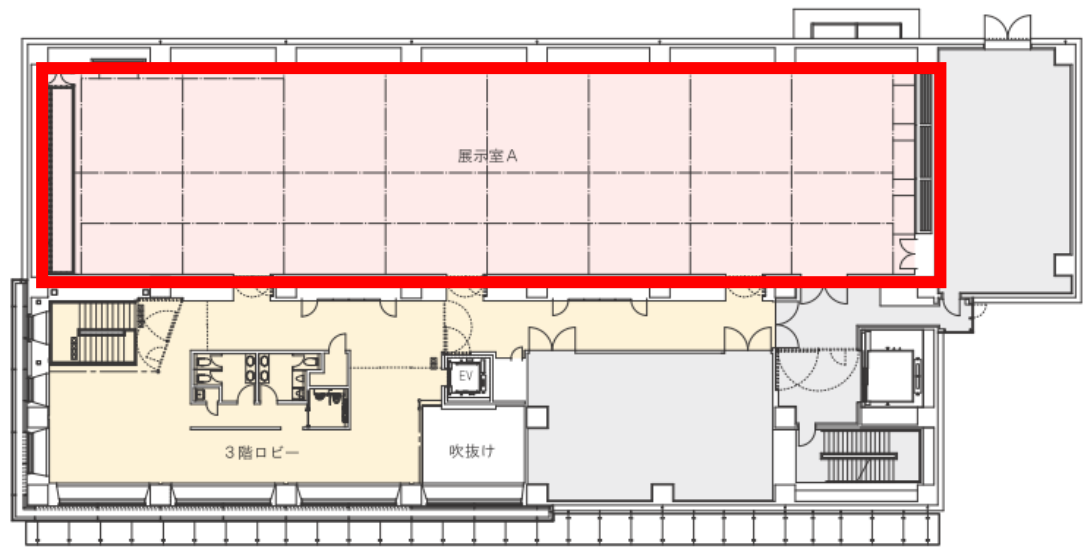


図7 3階平面図

4 美術館のコンセプト

(仮称) 東広島市立美術館は、「暮らしとともにあるArt、生きる喜びに出会う美術館」を基本構想で定めたミッションとし、基本理念として「ふれる」「はぐくむ」「つくる」「つなぐ」を掲げつつ、具体的なコンセプトとしても『育成・創造型美術館』を目指します。

そのため、市民の皆様の積極的な参画を推進していくこととしています。

《ミッション》

暮らしとともにあるArt、生きる喜びに出会う美術館

《基本理念》

鑑賞 ふれる
優れた文化や芸術にふれる

優れた芸術作品にふれる 豊かな空間にふれる
新たな表現にふれる 異文化にふれる、世界にふれる

育成 はぐくむ
地域の文化や人をはぐくむ

地域の文化を市民と共にはぐくむ 表現する才能をはぐくむ
文化芸術を楽しむ人材をはぐくむ 文化芸術を支える人材をはぐくむ

創造 つくる
個性豊かな文化を創造し発信する

新たな文化芸術をつくる 地域独自の表現をつくる
地域の文化をつくる

交流 つなぐ
人が集い、交わり、ひろがる

異なる表現をつなぐ 人を結び、地域をつなぐ
文化芸術を通じて世代をつなぐ 世界をつなぐ

《基本方針》

優れた美術を鑑賞できる美術館

世界をつなぎ、まちをつくる美術館

創造し参加体験する美術館

連携・交流する美術館